

らしめ得べきか、之れが爲には有力なる顧問商議員、多數の委員諸君によつて、夫々適切なる指導と計畫とを行はるゝ筈であるが、特に吾人の期待する處のものは、參會者諸君の熱心である。吾人は參會者の數に於て質に於て、實は全國幼稚園關係者大會の名に背くことなく、充分に其の内容を充實せしめ度いことを専心希望するものである。即ち全國の幼稚園教育に直接間接關係を有せらるゝ方々の、舉つて參會せらるゝことを切望するの

である。又その各參會者が此の會の効果を充分有益ならしむる様其の力を竭されんことを切望するのである。

來る大會の日よ。我國の熱心なる幼稚園關係者を舉げて一堂に會し、互に胸襟を開いて其の研究を語り、意見を議し、内に互に利する處多く、外に天下の注意を促し、以て我國幼稚園教育の改良上進を圖るの日よ、其の日は如何に重要にして樂しき日なるべきよ。

獨逸の婦人と、こども

ドクトル 三田 谷 啓

(三田谷ドクトルは長く獨逸に留學して先般戰亂の始まると共に歸朝せられました。之れは最近獨逸を知る有益なお土産話であります。編者)

獨逸の婦人

獨逸の婦人は家政が上手だと他國の人が賞めま
す。私は在獨中度々中流以上の家庭から招がれて

多くの家婦に接しました。獨逸婦人の家政のやり方を見ると實際上手です。一體物事を上手に整理すると云ふことは獨逸人の氣質でありますからこれが家庭の内によく現れて居ります。實際室内と

云ひ厨と云ひ誠によく整つて居ります。厨をお見せ下されと言へば何時でも喜んで見せてくれます。寢室でも物置でも直ぐに見せてくれます。私はいろ／＼こんなところまで見せて貰ひました。夏休みの時節等には諸處の家庭から招かれて一週間も其家庭の人となつて暮したことなどありません。外國人殊に我々のやうな毛色の變つたものを丁寧に親切に取扱つてくれる人も少くはないのです。

物事を整理することが上手である如く、獨逸婦人は又時間の整理が上手です。働くことと遊ぶこととがよく時間的に區別してあります。遊ぶ時間にはよく遊びます。饒舌も中々やります。併し愈働くとすると一生懸命です。脇見もせずに行きます。事務の時には無駄口は決して申しませぬ。事務用の訪問などは二分や三分でどし々とやつてのけます。それだから今日は何時から何時まで何軒訪問をすると言へば實際豫定通りに出来るのです。

獨逸の婦人は常識が發達して居ります。そして随分科學的です。日本の飯などたくことを一度教へてやると其次から多少に拘はらず出来損ひなどをせずにうまくたきます。これは何にも六かしくはないので。米と水と時間の比例をチャンと土臺にして居るからであります。

厨の整頓して居ることも實際美ましいです。勿論便利に且清潔にしてあります。私は日本の厨のことを思うとあまりに其差がひどいので悲しくなります。

清潔と言ふことも中々八間敷申します。日曜日には普通洗ひたての襯衣とか肌着とかに更へるのです。洗濯日と言ふものが月に一度とか二度とかあります。其時まで洗濯物は一緒に置いて置いて洗濯日にかためてやつてしまうのです。襟であらうが白襯衣であらうが皆家でやつてしまうのです。

婦人の身體

獨逸の婦人は概して肥つて居ります。獨逸から英國に行くときあまりに英國婦人の細いのに驚かされます。

近頃のしらべによると獨逸の婦人の平均壽命は五十五年にも達したと言ふことです。成る程婦人の身體が強くなるのは理もです。身體の練習と言ふことは盛に行はれて居ります。幼少の時から冬になると氷滑りや橇乗りなどを盛にやり、又小學校時代になると年中水泳をやる。山登りをする。遠足をやると言ふわけで、既に母になつた人々でも體育のためにとて年中水泳をやるのか、冬になると橇乗、氷滑等もやるのです。

それだから婦人でも中々強いものです。大きな物入カバンに馬鈴薯や果物などウンと買い込んで市場から平氣で下げて歸ります。夏になると山登りなどを致しますが重たい囊を背中に負ひ険しい

山などをあの釘の付いた重たい靴をはいて上るのです。中々強いものです。又橇乗、「シー」等を見ても如何に婦人が劇しい運動に堪え得るかがわかります。

婦人と職業

生活がますます々々困難になる結果、獨逸でも婦人の職業を求め人は益々殖えて參りました。生活問題は實地問題中最も直接の問題です。結婚が中困難です。そこで先づ就職の途を求めます。今日は男女混戦の有様であります。資本のあるものは大學に入るとか其他の學校で高等教育を受けます。醫學、音樂、哲學、文學等を修めて居る女子の大學生は中々あります。男子の中に交ざつて同じやうに修業するのです。併し學資のないものは小學校を出ると簿記、速記等と言ふ補習教育をうけて早く實地に著き生活の途を講ずるのです。それですから女子の獨立心とか經濟思想と言ふ

ものは中々發達して居ります。

結婚問題

小學校を出ると大抵のものは直接生活問題に觸れずに居られませぬ。職業難も結婚難のためにつて來るのが多いのです。獨逸では男子より女子の數が多いのです。其上に結婚せぬ男子が甚だ多くあります。實際結婚が出來ないのです。其中には出來る身分の人でも殊更やらぬ人があります。その結果女子にして結婚し得ないものが中々澤山あります。娘を持つ親は先づ結婚は出來ないものとして其娘に職業を選ばせるのです。

結婚難はますます々々劇しくなる傾きがあります。結婚さへ出來れば外國人であらうが異人であらうが少しも辭せぬものが中々澤山になると言ふ有様です。

婦人の社會事業

獨逸人は一體ものを組織することが上手です。

會の組織も上手にやります。婦人が社會的に種々の事業を致すことも近頃は盛になつて參り、婦人の數は非常に多くあります。獨逸の婦人が社會的事業を初め出しましたのはあまり古いことではありませぬ。今から凡そ五十年前即ち千八百六十五年にライプツヒで獨逸婦人會が起されましたそれから柏林に出來、次で他の都市にも起り、今日存在して居る婦人會の數は幾千と言ふ程です。従て其目的も中々いろ／＼分かれて居ります。

凡そ婦人の社會事業としてどんなことが行はれて居るかを申しあげますと先づ次ぎの如きものでせう。

婦人問題の一般を研究するもの

職業に關するもの

慈善、保護に關するもの

經濟、法律に關するもの

教育、學術、藝術に關するもの

體育、遊戯、運動に關するもの

禁酒に關するもの

風俗、道徳、習慣等に關するもの

また其他にもあるでせう、そして其事業の方法はどう言ふ風に致して居るかと申しますると第一集會であります。總會、例會、講演會等をやります。次は出版で、機關雜誌、趣意書、類書、著述等、其次には陳列場、展覽會、それから圖書館、講習會等であります。

然るに今より二十年程前に獨逸婦人會同盟と言ふものが出來ました。即ち千八百九十四年に起されたのです。これは諸種雜多の目的と有せる婦人會が同盟して互に聯絡をとると言ふ目的で誠に都合のよい企であります。この同盟に加入して居る婦人會の數が二千四百餘あります。此婦人會に屬せる會員の數は約五十萬であります。兎も角五十萬も會員があれば大きなものです。同盟會の方には七人の幹事が居て事務を執つて居り、總會は

二年目に一度づゝ開かるるのです。同盟會からは數種の雜誌が出て居ます。

私は時々婦人會にも出席致し獨逸婦人の働きぶりや、おてなみをチャヨツと拜見に參りました。中中上手です。チャキ々々々とうまく進行させてゆくとところはえらいものだと思ひました。時には數千人の聽集を得て婦人大演說會などをやります。辯士は悉く婦人で正々堂々と大議論を吐きます。講演の後には男子が討論に出る。女子が反駁する混戦になる。中々盛なものです。

私は獨逸及び英國で「日本の婦人」と言ふ題で講演を試みたことがあります。何れも中々盛でした。獨逸婦人で「日本婦人」といふ講演を致すと言ふ豫告が出て居たのを見ましたが丁度其當日は英國へ旅行に出かける筈になつて居たので、私は其講演者の婦人に一書を送り面會を求めました。翌日返事が來て面會の日を示してありました。いよ々々其婦人に逢つた上私は其婦人が觀たる日本婦人に

關して種々質問し且講演の内容なども聞いたことがありました。

話が横路に外れましたが兎に角婦人社會では外國婦人の性格と言ふことも興味を持つて研究して居るのです。一體婦人のみならず獨逸の國民は道が世界主義の國民だけあつて女、子どもに至るまで世界的智識を得るために勉めて居たのであります。

思ふに獨逸婦人の社會事業はます々々進歩することゝ信じます。外國に於ける獨逸婦人も中々多くの會を造つてよく組織しよく活動して居ります。

獨逸の子ども

日本のこともは羨がよいと外國人は言ひます。柔順なからです。併し實際日本の兒童教育が理想的だとは言へぬふしが少からず發見されます。

獨逸の子どもはあまり柔順ではありません。又餘程兒童に自由が許してあります。お客さまの前だから特に大人しくせよなどと親が兒に申しませぬ。

ぬ。併し義務と責任と言ふことを親は早くから兒童の頭へ刻みこませます。刻みこむなどと言ふ特別の考はないのでせうけれども、國民の考が義務と責任に對し深いからツヒ斯くなるのだと思はれます。子どもに何か品物をやると其親はお禮はこどもから言はせますと云つて親は何とも申しませぬ。子どもは自分がお禮を言ふ義務があることを悟ります。

權利だの義務だの言ふことは矢張子どもの時代よりそれとはなしに幕ぶものと見えます。自分に權利のあることはドシタ々とやつて來ます。

子どもの身體操練

獨逸の子どもは盛に身體操練をやります。冬と言はず、夏と言はず子どもに盛に運動をやらせます。雪でもふれば男女の子どもは寢食を忘れて櫛遊ひ等を致しますこの運動のすきな性質が生涯を通じて獨逸國民に現はれて居ります。

強健な國民を造ると言ふのは獨逸の主義でありますから、種々の方面からこのことを研究して居るのであります。

こどもの保護

獨逸に於けるこどもの保護は中々行き届いたもの değildir、乳兒の保護。學校前の兒童保護、學校時代の兒童の保護、小學校後の兒童の保護と言ふやうに中々種々出來て居ります。或は又兒童勞働保護法など言ふものが出來て居て一定の度を越えて兒童に勞働をさせぬやうになつて居ります。其他脆弱兒童、疾病恢復期の兒童、貧民兒童等に對する保護も中々進んだものです。

我東京でも幼少の兒童に夕方晩くまで夕刊賣りをさせて居るものが中々澤山あります。私は實際二三の兒女に就て其勞働の劇しいことを訊しました放課後直ちに夕刊賣に出て十時過までも踏傍にイむことは中々の仕事である。又燐寸製造だとか

封筒張だとか言ふことにこどもを盛に使役して居るものが我邦の都會にあると申します。工場法案すらまだしけれない世の中であるから心細いことである。

私がある時歐羅巴で講演を致しました時に獨逸人がこう言ひました。日本のこどもは躰がよいのに小學校を出ると職に就き、近頃日本工業の進歩した結果職工となり、職工衛生の顧みられざるため結核や其外の疾病に罹り、折角よく育て上げたものが臺なしにされつつある。惜しむべきことではないかと申しました。實際我邦の状態は斯うなことです。私はこれを聞いて赤面の至りだと思ひました。獨逸で學校の外に家庭と社會でこどもを保護して居ることはまことに喜ばしいことであります。教育の目的を達するにはどうしても學校だけではうまく行かぬ。不具の教育たるを免れませぬ家庭と社會が共に力を入れてくれねば効果はあがりませぬ。